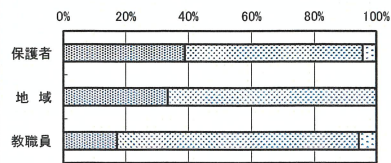


■ 4－そう思う ■ 3－どちらかといえば、そう思う ■ 2－どちらかといえば、そう思わない □ 1－そう思わない

学校教育方針

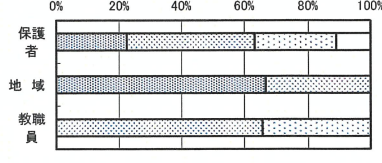
1 学校の雰囲気

学校は、全体的に雰囲気がよく、活気がある。



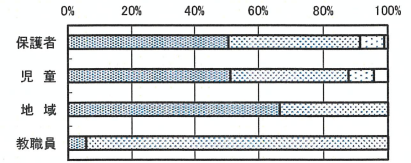
2 連携協力

親子で地域行事と一緒に参加しているようだ。



3 学校の楽しさ

子どもは、学校に行くのを毎日楽しみにしている。



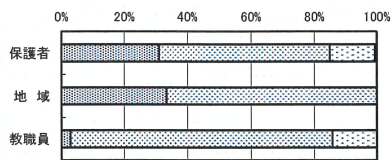
【学校から】

○学校に行くのが楽しみだと答える子どもは89%（前年度91%）でやや低くなった。学ぶことの楽しさ、友だちと仲良く活動する楽しさを高めていく必要がある。そのために、も授業力向上を進める。また、子どもが活躍する教育課程の工夫、職員が力を合わせる協働体制づくりを行う。

教科指導

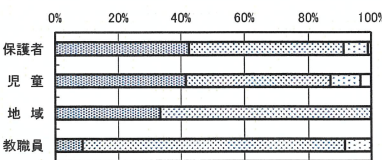
4 個に応じた教育

学校は、個に応じた教育をしている。



5 学力充実

学校は、「学力」が身につく学習指導を行っている。



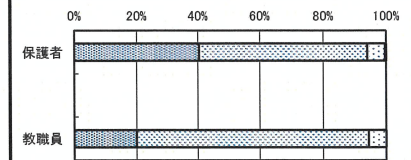
【学校から】

○一斉授業、教授型授業から子ども主体の授業へ変革の必要性がある。特に、指導と評価の一体化、徹底指導と能動型学習のメリハリのある授業づくりが重要である。また、少人数指導や交代授業などの工夫をする。

教科指導

6 学習評価

学校は、学習に関する子どもの能力や努力を適切に評価している。



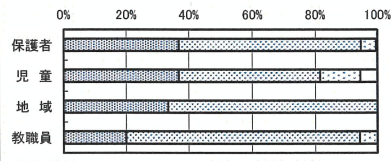
【学校から】

○評価の在り方は絶対評価の徹底を行う。個人の伸びや良さの評価に努める。

道徳教育 心の教育

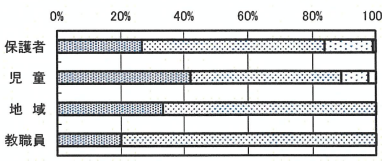
7 人権教育

学校は、いじめや差別をなくす人権教育・啓発を適切に行っている。



8 心の教育

学校は、思いやりや生命尊重等、心の教育を適切に行っている。



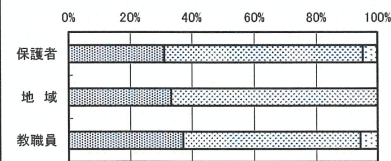
【学校から】

○校務の効率化により教師と子どもとが向き合う時間を増やし、子どもと子ども、子どもと教師の人間関係を深める教育活動を実践していく。また、毎月実施する「心のアンケート」後の教育相談を充実する。

基本的生活習慣

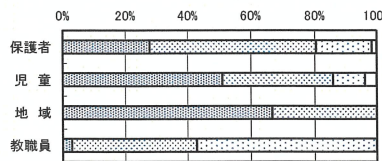
9 生徒指導

学校は、子どもがまちがった行いに対し、適切に指導している。



10 あいさつ

子どもたちは、学校や地域で気持ちのよいあいさつができる。



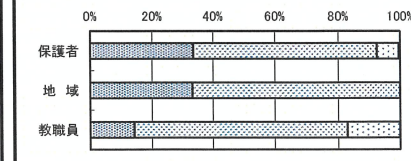
【学校から】

○善悪の判断を徹底して指導する。「時間を守ること・交通ルールを守ること・遊び方のルールを守ること」を保護者や地域と協働して指導する体制づくりを行う。

連携・協力

11 連携・協力

学校の教職員は、連携・協力して教育活動に取り組んでいる。



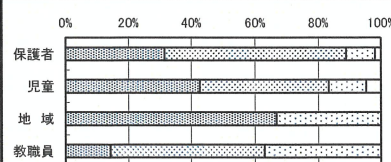
【学校から】

○プロジェクト部会での協働体制を推進する。

施設・環境

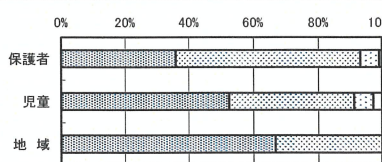
12 施設設備

学校の教室やトイレや運動場は使いやすいと思う。



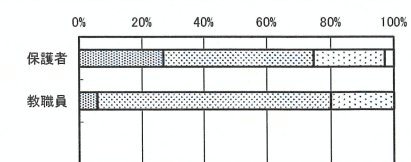
13 環境美化

学校は、校舎内外（花壇や教室の掲示物等）の環境美化に努めている。



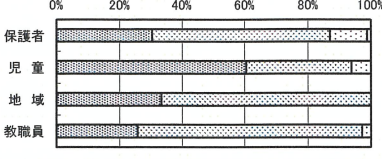
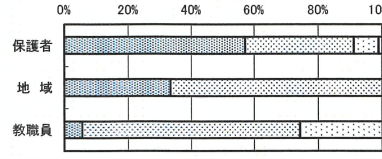
14 意見発表

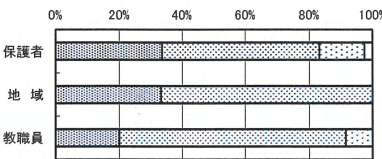
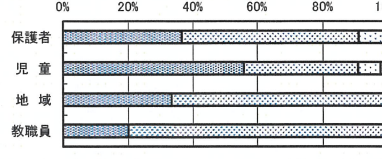
子どもは、自分の考えや意見を言うことができる。（授業参観の様子）

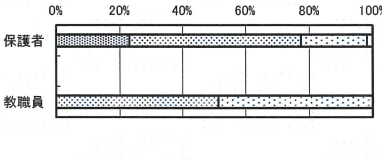
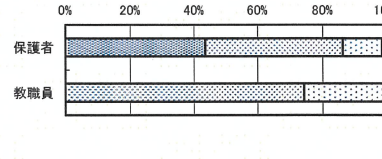


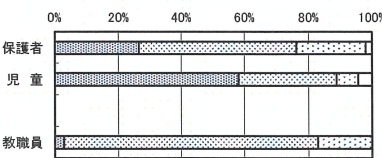
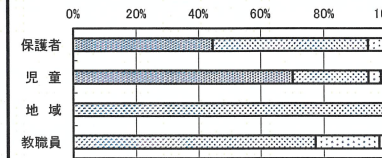
【学校から】

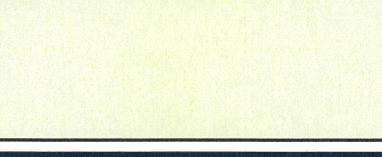
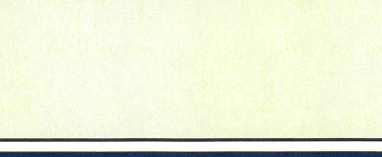
○環境美化は、よく整備されている評価である。しかし、トイレや下駄箱など掃除指導がやや不十分である。各委員会や係活動の日常的指導を活性化させる。
○学級活動を重視し、子ども主体の集団活動を実施する。（話し合い活動の活性化）

地域連携	
15 行事の工夫 運動会や学習発表会等の学校行事は、工夫されている。 	16 情報発信 西合志南小は、各たより、ホームページ等で学校の様子を十分知らせている。 
【学校から】 ○子どもの姿が保護者にも、地域にも見えるような学級通信とホームページ発信を続ける。	

教職員・教育相談	
18 職員の対応 学校は、電話や来客者への対応が適切である。 	19 教育相談 学校は、子どもたちや保護者の相談に気軽に乗っている。 
【学校から】 ○相談体制を保護者にも伝え、自由に教育相談ができる場づくり（保健室内に設定）をする。定期的な教育相談の場所を設定し、職員室横の「相談室」の活用を図る。	

基本的生活習慣・家庭教育	
20 基本的生活習慣 子どもは、話を聞く、身辺整理等の基本的生活習慣が身に付いている。 	21 家庭学習 子どもは、家庭学習の習慣が身に付いている。 
【学校から】 ○中学年・高学年からは「自主学習」に力を入れる。家庭学習を通して家庭との連携を図る。	

基本的生活習慣・家庭教育	
22 家庭教育 子どもは、あいさつや返事ができるように寝がされている。 	23 キャリア教育 子どもたちは、夢や希望をもって元気に学習している。 
【学校から】 ○「早寝・早起き・朝ご飯」の取組をPTAと連携して行う。	

（学校独自）	
24 規範意識 子どもは、交通ルールを守って登下校している。 	25 PTA活動・登校班 子どもは、毎日、登校班で学校へ通っている。 
【学校から】 ○キャリアパスポートを作成し活用を図る。	

来年度の具体的な取り組みについて	
■教育課程・日課の工夫を行い、教師の教材研究の時間を確保する。また、校内研究を工夫し職員主体の研究を進める。（国語・算数・道徳・特別活動の4部会実施） ■校務分掌を課題解決型（プロジェクトチーム編成）に変える。 ■「学校支援・地域連携推進協議会」にPTAの地区委員も参加させ地域行事への積極的な参加を促す。 ■学校ですべきこと、家庭ですべきことを明確にする。（PTAとの連携）	

学校関係者評価
1 確かな学力について、勉強が好きな子になるように方向付けることが大切。放課後の寺子屋はもっと担当者を増やして充実させると良い。 2 家庭教育力を高めるためにするとよいこと。 ○家庭内での児童の役割を与えること。○家庭内での挨拶を習慣化すること。○筆箱の中身を保護者が確認すること。 3 身近な校則や登下校のルールを学校全体で徹底指導することで規範意識を高めたい。 4 現在行っている地域の各行事を校内に掲示し、案内を紹介すること。また、自治会・民生委員・PTA地区委員の関係を深めるとよい。 5 教職員の自己評価が低いのがもっと自信をもって保護者へも頑張りを啓発して欲しい。 6 登校の様子を保護者が把握すること。（集合時間が守られていない）